

※紙面の都合上、質問は抜粋しています

◎委員長 ○副委員長

産業建設委員会の審査概要

◎篠永誠司 ○眞鍋幹雄 三浦克彦 山川和孝
吉田善三郎 井川 剛 曾我部 清

議案第 78 号

令和 4 年度四国中央市一般会計補正予算 (第 9 号) [所管分]

質問

畜産配合飼料価格高騰対策支援事業費補助金についてウクライナ情勢などの影響はあると思われるが、飼料価格について、どの程度上昇しているか伺う。また、今回の対象は何戸であるか。

答弁

飼料価格の上昇については、平成 18 年から令和 4 年までで約 2 倍との試算が出ており、そのうち令和 2 年から令和 4 年においては約 1.6 倍となっている。当事業の対象者数については、市内の畜産農家数は 29 戸あるが、対象は配合飼料価格安定制度に加入している 21 戸である。内訳は、採卵鶏が 6 戸、肉牛が 2 戸、乳牛が 1 戸、養豚が 12 戸である。

質問

生活交通バス路線維持・確保対策事業の金額の算出根拠を伺う。また、該当路線のバス利用者数についても伺う。

答弁

算出根拠については、国の定めた基準で、バス会社が算定することとなっている。基準は乗客数に応じて補助額が算定され、国、県、市が必要経費から運賃収入を引いた金額を負担する形となっている。利用者についてはバス会社から提供があった数字によると、年間 82,201 名であった。

調査結果報告について

調査結果について、吉原委員長より
12 月定例会最終日に報告を行いました。

公共交通調査特別委員会

市民の皆さまの日常的な移動手段として、市内には鉄道や路線バス、タクシー、新宮地区の福祉バス、予約型乗り合いタクシーであるデマンドタクシーなどの公共交通機関が利用されております。今後も日常的に利用される方のほか、自家用車の運転免許証を返納する方の増加などから生活のための移動手段としての公共交通機関は重要性を増していると考えられることから、本委員会は設置されました。

委員会ではコミュニティバスなどの新たな交通事業の導入についての調査や、市内の公共交通の現状の検証と課題解決のための協議などを実施してきました。



それにより、交通結節点の整備をはじめとした複合的な交通機関の活用を効率的に行うための環境整備を進めることや、デマンドタクシーの利用促進を図るための周知・啓発を推進することなどが必要であるという結論に至りました。

高齢化が進むことも含め、今後も公共交通に対する取り組みは、より重要度が高まっていくと考えられるため、上記の取り組みの一層の推進を提言し、また、更なる人口減少など社会情勢の変化に伴い、地域公共交通体系の転換が生じた際には、改めて調査活動と共に対策などの協議検討を行う必要があることを確認したうえで、本委員会の調査終了を報告いたします。

総務市民委員会の審査概要

議案第 75 号

四国中央市手数料条例の一部を改正する 条例について

質問

全ての証明手数料をキャッシュレス決済で支払えるのか。また、公民館にある出張所での取り扱いについて伺う。

答弁

市民窓口センターで現在取得いただいている戸籍、住民票、印鑑証明などを対象としているが、証明書類の郵便請求などはキャッシュレス決済の対象外となる。また、出張所での取り扱いについては、市民窓口センターのレジスターを更新するタイミングに合わせたキャッシュレス決済の導入であり、機材の環境により、当面は、市民窓口センターのみの対応となる。

◎原田泰樹 ○猪川 護 横内博之 三好 平
三宅繁博 谷内 開 川上賢孝 谷 國光

議案第 78 号

令和 4 年度四国中央市一般会計補正予算 (第 9 号) [所管分]

質問

はしご車の調達を見送ったとのことだが、今後の予定を伺う。

答弁

今年度調達予定であったはしご車は、はしご車対応シャーシを供給している自動車メーカーの認可取り消しや、半導体不足による部品供給の遅延により、調達の見通しが立たないため、予算を取り下げることとなった。

今後は、自動車メーカーの動向や県内外の消防本部から情報を収集し、来年度以降の調達に向けて検討したい。また、調達が完了するまでは既存のはしご車を使用することになるため、メーカーが推奨する保守点検を実施し、安全を確保しながら、運用を継続していく。

教育厚生委員会の審査概要

議案第 76 号

四国中央市体育施設条例の一部を改正する 条例について

質問

浜公園川之江野球場の利用時間が延長され、照明施設が新設されるが、背景及び周辺住民への配慮・工夫を伺う。

答弁

背景としては、少年野球チームが主に使用していたグラウンドが使用できなくなったことが大きな要因である。それに伴い、浜公園川之江野球場の利用時間を午後 7 時まで延長することとし、夜間利用のために内野の照明を設置するものである。

周辺の民家への配慮・工夫については、内野を照らす照明であるため、夜間に明かりが届かないように配慮する。

◎石川 剛 ○眞鍋利憲 茨木淳志 杉浦良子
飛鷹裕輔 吉原 敦 山本照男

議案第 78 号

令和 4 年度四国中央市一般会計補正予算 (第 9 号) [所管分]

質問

市内小中学校で導入予定であるロボット教材について詳細を伺う。

答弁

ロボット教材については、掃除ロボットを販売しているアイロボット社の教材であり、小学校低学年でも扱いやすいロボットということで先般、徳島大学理工学部の協力を得て、実証実験をする中で子どもたちが非常に使いやすく、理解しやすい教材であると分かったため、導入するものである。

この教材は、プログラミングの授業に使用することとなるが、学びを通し論理的な思考を育むことを目的としている。

議決結果一覧

番号	件名	議決結果
議案第 72 号	四国中央市印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 73 号	四国中央市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例について	原案可決
議案第 74 号	四国中央市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 75 号	四国中央市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 76 号	四国中央市体育施設条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 77 号	四国中央市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 78 号	令和 4 年度四国中央市一般会計補正予算（第 9 号）	原案可決
議案第 79 号	令和 4 年度四国中央市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 80 号	令和 4 年度四国中央市国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 81 号	令和 4 年度四国中央市港湾上屋事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 82 号	令和 4 年度四国中央市後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 83 号	令和 4 年度四国中央市城山下臨海土地造成事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 84 号	第三次四国中央市総合計画基本構想の策定について	原案可決
議案第 85 号	市長等の給与の特例に関する条例の制定について	原案可決
議案第 86 号	令和 4 年度四国中央市一般会計補正予算（第 10 号）	原案可決
議案第 87 号	四国中央市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
認定第 1 号	令和 3 年度四国中央市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第 2 号	令和 3 年度四国中央市水道事業会計決算、四国中央市工業用水道事業会計決算及び四国中央市公共下水道事業会計決算の認定について	認定
選挙第 1 号	愛媛県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	指名推選
	議会改革調査特別委員会委員辞任の件	許可
	議会改革調査特別委員会委員の選任について	選任
	地域医療対策特別委員会委員辞任の件	許可
	地域医療対策特別委員会委員の選任について	選任
議員提出議案第 2 号	防災・減災対策調査特別委員会の設置について	原案可決
選任第 3 号	防災・減災対策調査特別委員会委員の選任について	選任

各議員の議案に対する賛否の状況

※賛否が分かれた案件を記載しています

	横内	茨木	杉浦	猪川	三浦	眞鍋利	飛鷹	吉原	石川	眞鍋幹	三好	山川	三宅	谷内	川上	篠永	山本	吉田	井川	原田	谷	曾我部
議案第 78 号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	欠	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 86 号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	欠		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第 1 号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 欠：欠席



杉浦良子
議員



住民参加型まちづくりの推進について

質問

市民の声を聞くためのタウンコメントを増やすためにどのような工夫をしているのか。審議会や委員会の委員の選出方法はどうか。また、全国的に広がっている協働のまちづくりを実現するための「市民討議会」をどう考えるか。

答弁 副市長、政策部長

本市では、市ホームページや広報紙に掲載する募集方法に加え、SNSを活用して発信するなどの方法により、制度本来の目的を果たすべく、より幅広く市民に周知できるよう努める。指針では基本原則として、公募委員を選任する、任期が3期を超えない、同一の委員が4つを超える審議会などに属さない、更には男女比率の均衡を図ると示されており、委員の選出は、法令などで定めのあるものを除き、各部署において設置目的に照らし、指針の基本原則に基づき行っている。市民討議会については、今後十分検討していきたい。

その他の質問 ▶子どもの虐待防止について
▶市民の心に響く音楽や文化について



三好 平
議員



本市のこども医療費助成条例の一部改正について

質問

高校卒業までの医療費完全無料化を求めてきたが、今回高校生だけでなく満18歳までと拡大されたことは評価する。同条例第1条中「保護者」を「保護者またはこども」に改めているが、なぜ「こども」を加えたのか。対象拡大の要因と実践の発展内容の説明を求む。

答弁 副市長

今回の改正により対象となる子どもは、「18歳到達後の最初の年度末までに該当するこども」としており、学生とは限定せず、就職・結婚などで独立された方も含むことから、本市の将来を担う子ども本人にも助成できるよう改正を行うものである。また令和4年の民法改正により、成人年齢が18歳に引き下げられたことから、今回対象となる子どもは未成年と限定できなくなり、現行の条例では成人した子どもの親へ助成ができないため、成人した子どもの親へ継続して助成ができるよう今回の条例改正では、「成年に達したこどもに係る該当者であった者」を追加し対応している。

その他の質問 ▶マイナンバーカードの交付率について



飛鷹裕輔
議員



消費税のインボイス制度は中止すべき！影響と対策を問う

質問

来年10月からの制度導入により、売り上げ1,000万円以下の免税業者などは、選択により取引からの除外、消費税負担により廃業者の多発などの苦難が予測される。今後、免税業者が市と取引はできるのか。また市経済や行政への影響や対策を問う。

答弁 副市長、会計管理者

免税事業者と市との取引について、特別会計に関しては、今後市と事業者双方の利益・不利益などを考慮しながら、その方向性を充分検討すべきと考えている。また、影響や対策についての質問だが、水道事業や下水道事業などの公営企業会計でも、インボイス制度にのっとった適格請求書を発行するために若干のシステム改修が必要となるが、保守の範囲内での対応を予定しており、大きな影響はないものと考えている。

その他の質問 ▶学校給食費の無償化について



二次元コードから、各議員の質問の映像を見ることができます



茨木 淳志
議員



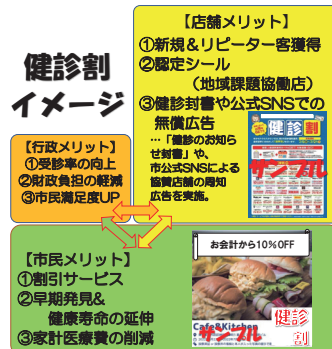
高騰する本市の国民健康保険料対策として、健診割システムを取り入れてはどうか

質問

健診割とは、健康診断を受けた市民が、協賛店舗で割引などを受けられる制度。本市でも取り入れることで、医療費高騰の要因である高血圧・糖尿病患者の早期発見につながり、医療費の適正化による保険料の抑制や健康寿命延伸にもつながると思うが見解を伺う。

答弁 市民部長

国保被保険者の約7割を占める健診未受診者を、一人でも多く受診につなげることができる可能性のある取り組みとしての「健診割」については、今後、保健推進課、長寿支援課、国保医療課の3課合同予防事業プロジェクトなどにおいて、対象としてがん検診・特定健診・歯科健診なども含め検討していきたい。



その他の質問 ▶ お金がないという前に見直せるものはないのか
▶ 公立園の民営化は「保育士確保」の救世主か



篠永 誠司
議員



中核病院の建設・今後のスケジュールについて

質問

学校共済組合は基本計画策定後、令和5年3月までに施設の要求水準、建設などの事業方式を決定。同年6月に設計・施工者の公募を実施、翌年1月に選定、2月から基本・実施設計を開始し令和10年5月開院としているが、市が把握している内容について伺う。

答弁 市民部長

基本計画は現在も作業進行中のため、現時点で明らかになっていないが、9月に行った公立学校共済組合本部担当者との協議において確認したスケジュールでは、既存病院の解体は、令和6年2月に着手予定の基本設計と平行して解体実施設計を行い、その後、建設のための実施設計に着手する令和6年11月頃より既存病院及び宿舍の解体事業に取り掛かる予定となっている。また、設計、施工者選定については、設計と建築工事を一括して発注する「デザインビルド方式」を採用予定であると聞いている。今後も早期の開院を要望していくと共に、定期的な協議の場を持ち、スケジュールの進捗を確認・共有していく。

その他の質問 ▶ 城山下臨海土地造成事業について



谷内 開
議員



投票支援カードの導入を

質問

重度の障がいがある方にとって、投票するまでのハードルは健常者に比べれば格段に高いことは確かである。障がいのある方への投票支援として投票支援カードの導入を検討し、社会につくられているバリアを取り除くことは責務ではないか。

答弁 選挙管理委員会委員長

投票支援カードは、選挙人が投票所内でしてほしいことや、投票意思を事前に記入することで、投票手続きがスムーズに行え、投票も簡素かつ適正に行うことができるため、大変有効な投票支援手段として全国においても導入する自治体が増えている。本市では、来年4月に執行予定の「県議会議員選挙」より導入できるよう取り組んでいきたいと考えている。また、指などで示しながら意思を伝え、スムーズに投票が行えるようサポートする「コミュニケーションボード」の導入も同様に進めたい。なお、導入の際には、障がい者福祉の担当部署と連携を取り、関係機関の意見も参考にしながら進めたい。

その他の質問 ▶ 全天候型陸上競技場の建設について
▶ 子ども・子育て伴走型相談支援の実施について



三浦克彦
議員



子育て支援について

質問

本市の取り組む子育て支援については、子どもを安心して生み育てられる社会を構築し、少子化、人口減少という大きな課題を乗り越えていかなければいけない。地方行政として、国の支援を待っているだけではなく、知恵を出し合い実行に移すべきではないか。

答弁 市長

子育て支援として、育児休業制度があるが、男性の育児休業については、それぞれの職場の皆さまがもっと理解し、思い切って育児休業の取得を進めてほしい。子どもを育てるということは、一人の人間としてその子が成長していくことを見守ることに主眼点がある。施策については、庁内でも議論をし、知恵も出し合っているが、いろいろな見方、考え方がある。今後はできる範囲で実行していかなければならないと考えている。

その他の質問 ▶マイナンバーカードについて
▶無排水路生活排水について



眞鍋利憲
議員



スポーツ施設の整備について

質問

市内のスポーツ施設を安心して利用できるように、どのような整備を行っているか。また、学校の働き方改革により、公立中学校の休日部活動の地域移行によるスポーツ施設の利用が多くなると思われる。今後それに見合った施設整備が必要になるのではないか。

答弁 市長、教育管理部長

特に施設の躯体の老朽化が著しい川之江体育館は、漏水対策及びエントランス改修工事、土居総合体育館はプール系統の空調設備及び防災受信機の更新工事などを行っており、伊予三島運動公園体育館は、建物及び設備の調査業務を実施している。既存施設の利用促進を図ると共に、市民が安心してスポーツが行えるよう、機能の維持を目的とした修繕を行いながら、施設の長寿命化に努めたい。

部活動の地域移行は指導管理、練習場所の確保など、未確定な部分が多く、施設整備はスポーツ施設の全体像の考え方、競技ごとの練習環境、状況なども合わせて検討していきたい。

その他の質問 ▶公用車及び公務使用する自家用車について
▶観光名所などの整備について



猪川 護
議員



ICT 教育がもたらす成果、課題と不登校対策について

質問

デジタル社会に向け、全国 ICT 教育首長協議会会長賞受賞はすばらしい。ICT 教育が教育現場でどのように活用されているのか。増加する不登校問題、ICT 教育、コロナ対応など教員の負担が増加している中、児童生徒に寄り添う時間をどのように確保しているのか。

答弁 教育長、学校教育課長

本市では運用開始以降、独自の施策として「GIGA しこちゅ〜プロジェクト」を立ち上げ、いち早くオンライン授業を開始したことから、ICT 活用の授業研究が進み、各教科でさまざまな形で利活用が進んでいる。また、児童生徒にとっては端末が鉛筆やノートのように文房具の一つとして定着しており、学びそのものも変容している。

本年度は市内全小中学校においてコミュニティ・スクールが導入された。今後は学校の教育活動に対し、保護者や地域の方と一緒に取り組むことで、教員の業務の負担軽減を図り、教員が子どもたちと向き合う時間を確保できると考える。

その他の質問 ▶幼児教育から小学校教育の連動と環境づくりについて
▶本市の農産物のブランド化と労働力不足対応について



二次元コードから、各議員の質問の映像を見ることができます



山川和孝
議員



新型コロナウイルス感染症の感染状況及び市財政への影響について

質問

新型コロナウイルス感染症が発生してから3年近くが経過するが、本市の感染状況、ワクチンの接種状況、そして感染対策の総費用と市の負担分について伺う。また、今後の市財政への影響を問う。

答弁 市長、総務部長、市民部長

感染者の累計は12,000人を超え、オミクロン株対応ワクチンの接種状況は、12月1日時点で28,368人が接種済または予約済となっており令和2年度から令和3年度までの総費用は事業費約163億4,000万円で、特定財源（国からの補助金など）約149億9,000万円を除いた市の負担分が約13億5,000万円である。将来的には、社会保障関係経費や人件費の増加が見込まれ、ロシアのウクライナ侵攻による景気の悪化や新たな政策課題への対応など、現段階では見通せない諸問題が生じることも想定されるが、持続可能な四国中央市の実現に向けて健全な財政運営に努めていきたい。

その他の質問 ▶小型太陽光発電に関し国の動向と市条例検討状況を問う ▶放課後児童クラブの待機状況と今後の改善策を問う ▶豊岡町市道大町中通り線と豊岡公民館建設の工程を問う



横内博之
議員



新宮少年自然の家、新宮自然の家の建物と機能の今後について

質問

新宮少年自然の家の各施設は、個別施設計画によると「建物は2026年を目途に廃止する予定」となっているが、屋根・外壁・内装ともに、まだまだ使えるような状態で、もったいないと考える。今後どのような体制で検討を進めていくのかを伺う。

答弁 教育管理部長

新宮少年自然の家の各施設は、個別施設計画において機能の見直しのうえ廃止の方針となっている。また、寺内分館は、土砂災害警戒区域にある施設となっている。施設の機能見直しなどに向けた具体的な取り組みは、次年度以降に学校関係者や地元関係者、関係部署などで組織する検討部会を立ち上げ、協議を行っていきたい。機能見直し後の施設の活用などについては、新宮少年自然の家は避難所にも指定されていることから、検討部会や地元関係者とも十分協議を行い、住民を巻き込んだ新たな拠点づくりなど、他市の事例も参考にしながら検討したい。

その他の質問 ▶紙のまち資料館の今後について ▶GIGAスクール構想について ▶人口減少問題について



石川 剛
議員



防災減災に向けての組織の拡充について

質問

地域防災を推進するため自主防災組織の活動に加え、公的支援を受けて取得した防災士資格を持つ方々の知識や技能を生かす場を設けて行くことが肝要であると考えるが、現在の防災士数を踏まえ、横のつながりを広げるために組織化を進める考えはあるか。

答弁 副市長、防災まちづくり推進課長

本市の防災士数は、令和4年11月末現在で711人（男性529人、女性182人）。うち自主防災組織対象の県防災士養成講座で資格取得した人が、543人（男性380人、女性163人）。本市では、防災士などのネットワークを構築する目的で、「四国中央市自主防災組織連絡協議会」を設立している。しかし、防災士の人材確保のためにも防災士のネットワーク化は重要であり、防災士ネットワークの創設を目指し最善を尽くしたいと考えている。今後は本協議会を核に、身近な地域同士での活動報告や課題解決の意見交換ができる場を増やし、災害時には広域的な活動ができるよう連携強化に努めたいと考えている。

その他の質問 ▶消防団の地域での役割について

令和4年第4回四国中央市議会定例会から

常任・特別・議会運営委員会などが新体制になりました

総務市民委員会



三好平	谷内開	谷國光	原田泰樹	猪川護	川上賢孝	三宅繁博	横内博之
			委員長	副委員長			

教育厚生委員会



茨木淳志	飛鷹裕輔	山本照男	石川剛	眞鍋利憲	吉原敦	杉浦良子
			委員長	副委員長		

産業建設委員会



三浦克彦	吉田善三郎	曾我部清	篠永誠司	眞鍋幹雄	井川剛	山川和孝
			委員長	副委員長		

議会選出監査委員



谷 國光

議会運営委員会

吉田善三郎委員長
石川 剛副委員長
山川和孝
川上賢孝
篠永誠司
山本照男
原田泰樹

議会改革調査特別委員会

谷内 開委員長
横内博之副委員長
飛鷹裕輔
吉原 敦
篠永誠司
吉田善三郎
谷 國光

地域医療対策特別委員会

山本照男委員長
杉浦良子副委員長
猪川 護
眞鍋利憲
三好 平
川上賢孝
原田泰樹

防災・減災対策調査特別委員会

山川和孝委員長
石川 剛副委員長
茨木淳志
三浦克彦
眞鍋幹雄
井川 剛
曾我部 清

議会だより編集委員会

吉原 敦委員長
横内博之副委員長
茨木淳志
杉浦良子
眞鍋利憲
飛鷹裕輔

うちの子「結婚」しないのかしら？
独身のお子様の結婚相談承ります

お子様の結婚に関するお悩み、プロの仲人がお答えします。

まずはお気軽に仲人にご相談下さい

☎089-997-7411

結婚相談所 ムスベル

ドア・窓リフォーム

断熱 リフレッシュ

今ある窓に ガンタン換付け「インプラス」内窓

遮熱 シェード

ドア入替え

LIXIL F.C. マドリエ四国中央

サトー・ヨー 株式会社 サトー・ヨー住器(株)

お問い合わせは ☎0120-62-1128

1日1組限定、完全貸切です
ご家族のプライベートを尊重した自宅のような空間

結 家族葬会館
(ゆい)

プリエール 川之江

0896-58-6889

PRIERE

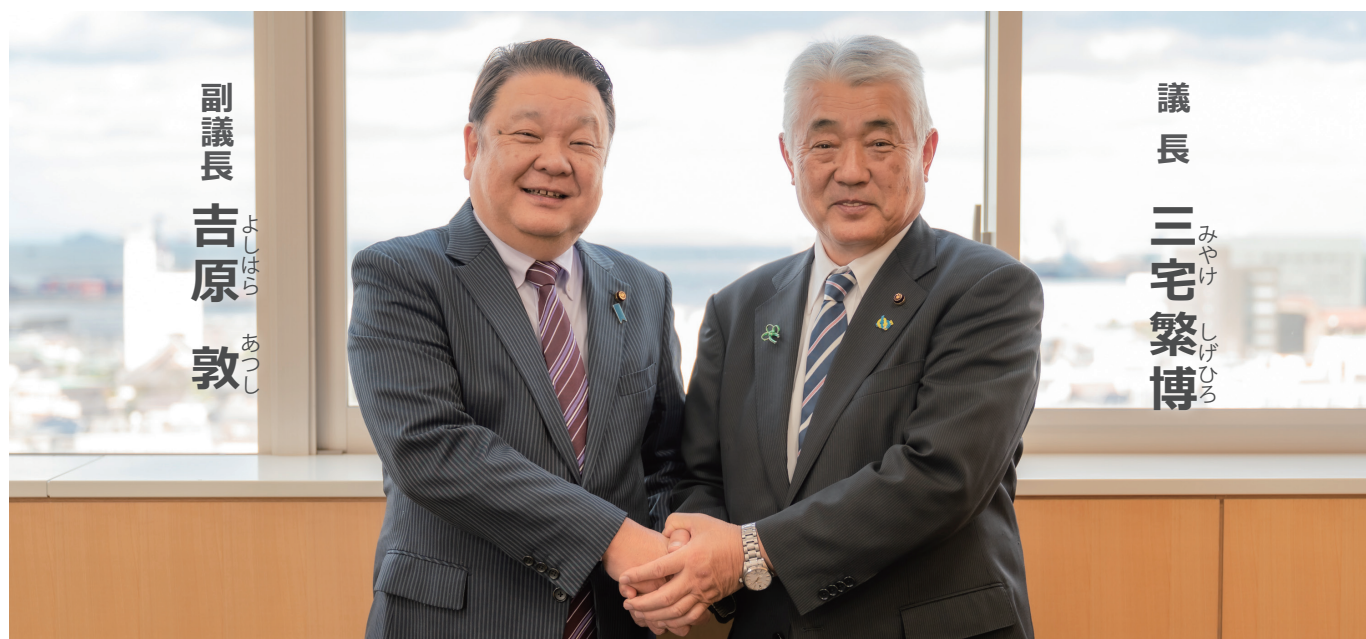
※見学希望の方は電話予約をお願いいたします。

令和4年第3回四国中央市議会臨時会（12月1日）で

議長・副議長が選出されました

四国中央市議会では、議会基本条例に基づき、議長または副議長に志願する者が、議会運営に係る所信及び抱負を表明する機会として所信表明を行っています。

今回の議長及び副議長選挙では、届け出順に議長選挙に係る所信表明を三好平議員、三宅繁博議員の2名、副議長選挙に係る所信表明を飛鷹裕輔議員、吉原敦議員の2名が行いました。



副議長略歴

昭和33年1月12日生（65歳）
四国中央市議2期目
教育厚生委員会委員長
公共交通調査特別委員会委員長
議会改革調査特別委員会副委員長
などを歴任

議長略歴

昭和28年4月12日生（69歳）
四国中央市議4期目
四国中央市議会副議長
四国中央市議会選出監査委員
議会運営委員会委員長
などを歴任

— 就任のごあいさつ —

市民の皆さまには、日頃より市議会の活動に対しまして、格別な御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。私どもは去る12月の臨時会におきまして、議長ならびに副議長に就任させていただくこととなりました。職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。長期にわたるコロナ禍により、大きく変化した生活様式が定着しつつある社会情勢に対して、

地方においてもこれまでの取り組みを見直し、課題の解決を着実に実行しつつ、時代に合った新たな取り組みを積極的に推進していくことが重要になってまいります。市民の皆さまにおかれましては、今後とも、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

JAうま
テイスサービスセンター あったか荘
三島 中之庄町 1684-4 ☎24-8712
川之江 妻鳥町 1525 ☎58-2132
土居 土居町土居 885-1 ☎74-0150
営業時間 / 8:30 ~ 17:00
定休日 / 土日・お盆・年末年始
※三島・川之江に限り土曜営業あり
見学受付中!
お気軽にお声かけください

観音寺市民会館活用促進事業 若手コンサートシリーズ
東川 暁洋
トロンボーン・コンサート
2/19 日 小ホール 14:00 開演
一般 2,000円
高校生以下 1,000円
※未就学児入場不可
全席自由
ハイスタッフホール（JR観音寺駅から徒歩3分）
<https://kanon-kaikan.jp/> TEL 0875-23-3939

**三島川之江インターから
高速バスが便利でおトクです!**
(市営専用駐車場あり※29台)
大阪 4,900円
三宮 4,450円
京都 5,350円
名古屋 5,000円〜
※往復利用時の片道あたりの運賃
※松山・高知・徳島へも毎日運行中!
ジェイアール四国バス
☎089-941-0489



99.9%

抗菌宣言

99.9%
にこだわった
ティッシュ

菌

99.9%
にこだわった
ティッシュ

抗菌・制菌の效果にこだわりました

株式会社

ンパ

99.9%菌にこだわったティッシュ

検索